

勝山市のすがた

平成4年度



勝 山 市

は し が き

ここに平成4年度版「勝山市のすがた」を刊行いたします。

この統計書は、勝山市の人口、産業、経済、教育など各分野にわたる基本的な統計資料を総合的かつ系統的に収録いたしました。本書が各方面において広く利用され、市勢の動向の的確な把握と、現状の正しい認識に役立つことができれば幸いです。

編集にあたりましては、内容の整備に努めましたが、なお不備な点があるかと思えます。今後とも各方面からご指導をいただき、より一層内容の充実を図ってまいりたいと存じます。

最後に、本書の刊行にあたり貴重な資料の提供ならびにご協力をいただきました関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

平成4年9月

勝山市長 今井 三右衛門

凡 例

1. 本書は勝山市に関する市勢の各般にわたる基礎的な統計資料を収録したものである。
2. 本書は平成3年、または、平成3年度の統計資料を主として収録し、比較対照の便を考慮して過去の資料も合わせて掲載してある。
3. 資料は各官公庁、団体、会社および庁内各課などからの提供・報告または当課において統計資料から直接収集したものである。
4. 資料の出所名は各表の右下に掲げ、年次、年度、表中の数字の単位は表の右上に掲げたが、一見して明らかなものは省略してある。
5. 数字の単位未満は四捨五入したので、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。
6. 統計表中「年次」とあるのは年間(1月～12月)、「年度」とあるのは年度間(4月～翌3月)を示している。
7. 統計表中の符号の用途は次のとおりである。
 - 「—」-- 皆無または該当数字なし
 - 「…」-- 不詳
 - 「X」-- 1または2の事業所に属する数を秘匿としたもの
 - 「△」-- 減少
8. 本書に収録した統計資料について、さらに詳細な数字が必要な場合、あるいは疑義のある場合には、各表ごとにつけてある各資料出所機関、または、本市企画開発課に照会してください。

目 次

<p>1. 市制施行及び市章の説明 ----- 1</p> <p>★ 自 然 ----- 1</p> <p>2. 地 勢 ----- 1</p> <p>3. 位 置 ----- 1</p> <p>4. 土 地 ----- 1</p> <p>5. 沿 革 ----- 2</p> <p>6. 産 業 ----- 2</p> <p>7. 面 積 ----- 3</p> <p>★ 歴 史 ----- 4</p> <p>8. 勝山市の歴史 ----- 4</p> <p>★ 市民生活 ----- 9</p> <p>★ 気 象 ----- 11</p> <p>9. 気象の概況 ----- 11</p> <p>10. 過去の気象最高(低)記録 ----- 12</p> <p>11. 年別最深積雪 ----- 12</p> <p>12. 月別平均気温・降水量の準平年値 ----- 12</p> <p>★ 世帯と人口 ----- 13</p> <p>13. 世帯数と人口 ----- 13</p> <p>14. 地区別世帯数及び人口 ----- 14</p> <p>15. 人口動態 ----- 15</p> <p>16. 人口動態の推移 ----- 15</p> <p>17. 年令(5歳階級)別人口 ----- 16</p> <p>18. 産業分類別・従業上の地位別就業者 ----- 17</p> <p>19. 人口集中地区〔DID〕 ----- 17</p> <p>20. 通勤・通学別流出人口〔15歳以上〕 ----- 18</p> <p>21. 通勤・通学別流入人口〔15歳以上〕 ----- 18</p> <p>22. 昼間人口 ----- 18</p> <p>★ 行 政 ----- 19</p> <p>23. 歴代市長 ----- 19</p> <p>24. 歴代助役 ----- 19</p>	<p>25. 歴代収入役 ----- 20</p> <p>26. 市職員数 ----- 20</p> <p>27. 勝山市行政機構図 ----- 21</p> <p>28. 最近の選挙投票状況 ----- 23</p> <p>29. 地区別基本選挙入名簿登録者数 ----- 23</p> <p>30. 市議会の機構 ----- 24</p> <p>31. 議会活動状況 ----- 24</p> <p>32. 請願陳情処理状況 ----- 25</p> <p>33. 歴代の市議会議長と副議長 ----- 25</p> <p>34. 市議会議員 ----- 25</p> <p>★ 財 政 ----- 26</p> <p>35. 平成4年度一般会計予算 ----- 26</p> <p>36. 平成3年度一般会計歳入歳出決算 ----- 26</p> <p>37. 平成4年度特別会計予算 ----- 27</p> <p>38. 平成3年度特別会計決算 ----- 27</p> <p>39. 平成3年度市税収入及び市税負担状況 ----- 28</p> <p>40. 市税の納税者数 ----- 28</p> <p>41. 市税の推移 ----- 28</p> <p>42. 市有財産の状況 ----- 28</p> <p>★ 教育文化 ----- 29</p> <p>43. 教育委員 ----- 29</p> <p>44. 教育委員会事務局機構 ----- 29</p> <p>45. 学校別児童生徒数 ----- 29</p> <p>46. 中学校卒業状況 ----- 30</p> <p>47. 学校(教職員・生徒児童数) ----- 30</p> <p>48. 高等学校卒業状況 ----- 30</p> <p>49. 幼稚園の幼児数・教職員数等 ----- 31</p> <p>50. 幼稚園年令別幼児数 ----- 31</p> <p>51. 公民館、市立図書館 ----- 31</p> <p>52. 勝山市の文化財 ----- 32</p> <p>53. 勝山市内発掘化石・恐竜の種類 ----- 34</p> <p>54. 勝山市の文化財分布図 ----- 36</p> <p>★ 農 業 ----- 37</p>
--	---

55. 農家戸数と人口	37
56. 農家人口と就業状態	37
57. 家畜飼養農家と家畜、家きん、頭羽数	37
58. 3類1等裸米政府売渡価格の推移	37
59. 年次別産米売渡量	38
60. 専業・兼業農家数の推移	38
61. 経営耕地面積	38
62. 経営規模別農家数の推移	38
63. 地区別農産物販売別農家数	39
64. 地区別農用機械所有台数	39
65. 地区別農業の状態	40
66. 作物別収穫(栽培)面積	40

★ 林 業	41
67. 保有山林面積規模別農林家数	41
68. 林野総面積	41
69. 造林伐採面積	41
70. 地区別山林面積	42
71. 市有林の状況	42
72. 林産物	42

★ 事業所	43
73. 産業分類別事業所数従業者数の推移 (民営+公営)	43
74. 規模別産業大分類別事業所数及び従業者数	43
75. 市別経営組織別事業所数及び 従業上の地位別従業者数	44
76. 産業別就業人口	46

★ 工 業	48
77. 最近10年の工業の推移	48
78. 産業分類別工業の概況	48
79. 市町村別繊維産業製造品出荷額等	49
80. 繊維産業業種別企業分布状況	50
81. 県内規模別設備状況	52
(A) 広幅織物設備	52
(B) 撚糸設備	52
(C) 仮より設備	54
82. 無籽織機の概況	54

★ 商 業	55
83. 商業の実態	55
84. 従業者規模別商店数	55
85. 従業者規模別飲食店数	55
86. 県下7市の産業の概況	56

★ 市民所得	58
87. 勝山市の概況	58
88. 1人当りの市(県、国)民所得	58
89. 関連指標	58
90. 平成元年度主要項目別分配所得	59
91. 産業別市内純生産	59

★ 社 会	60
92. 生活保護の状況	60
93. 市営住宅	60
94. 年次別共同募金の状況	60
95. 歳末たすけあい募金高	61
96. 国民年金加入状況	61
97. 国民年金(拠出)受給状況	61
98. 国民年金(福祉)受給状況	62
99. 教育福祉会館の施設	62
100. 教育福祉会館利用状況	62
101. 市民会館の施設	63
102. 市民会館利用状況	63
103. 保育所の状況	64
104. 児童センターの状況	64

★ 保険衛生	66
105. 国民健康保険加入状況	66
106. 国民健康保険税収納状況	66
107. 国民健康保険税負担額及び給付費用状況	66
108. 国民健康保険加入者1人当りの医療費と保険税	67
109. 環境衛生施設数	67
110. 医療関係施設	67
111. 成人病検診受診状況	68
112. 医療関係者	68
113. 予防接種の状況	68

114. 死因別死亡者数 -----	69	★都市計画 -----	83
115. 国民健康保険病類別疾病 -----	69	144. 都市計画用途指定地域 -----	83
116. ゴミ処理状況 -----	70	145. 防火地域 -----	83
117. 資源化物回収状況 -----	70	146. 都市計画道路 -----	83
118. 人口・世帯別ごみ排出量 -----	70	147. 都市公園 -----	84
119. 合併処理浄化槽設置整備状況 -----	71	148. 土地区画整理事業 -----	84
★警察・消防 -----	72	★上水道 -----	85
120. 刑法犯罪の発生・検挙の状況 -----	72	149. 水道普及状況 -----	85
121. 交通事故 -----	72	150. 水道給水状況 -----	85
122. 月別交通事故発生状況(人身事故) -----	72	 	
123. 運転車年令別交通事故発生状況(人身事故) -----	73	★下水道 -----	86
124. 消防機構 -----	73	151. 下水道計画概要 -----	86
125. 消防職員の現勢及び配置 -----	73	152. 浄化センター施設の概要 -----	86
126. 無線通信施設(超短波) -----	74	153. 下水道整備普及状況 -----	87
127. 消防団員の現況及び配置 -----	74	 	
128. 救急救助用器具保有数 -----	74	★労働 -----	87
129. 消防車輛等の所有数 -----	75	154. 一般職業紹介状況 -----	87
130. 消防水利現況 -----	75	155. 雇用保険給付状況 -----	87
131. 火災件数 -----	75	 	
132. 救急出動件数 -----	75	★運輸・通信 -----	88
 		156. 自動車保有台数 -----	88
★生活環境 -----	76	157. 郵便局及びその他の施設 -----	88
133. 交通災害共済年度別状況 -----	76	158. 年賀郵便物取扱状況 -----	88
134. 交通量調査結果 -----	76	159. 郵便物取扱状況 -----	88
135. 交通安全施設の状況 -----	78	 	
136. 公害発生施設届出状況 -----	78	★特産物 -----	89
 		160. 勝山市の主な特産物 -----	89
★建設 -----	80	 	
137. 道路の状況 -----	80	★観光 -----	90
138. 国道整備状況 -----	80	161. 私鉄主要駅乗降客状況 -----	90
139. 主要地方道整備状況 -----	80	162. 観光客入込と消費額状況 -----	90
140. 一般県道整備状況 -----	81	163. 観光地月別入込状況調査 -----	92
141. 市道整備状況 -----	81	164. 観光地入込観光客調査 -----	92
142. 橋梁の状況 -----	82	165. 東山いこいの森利用状況 -----	94
143. 普通世帯住居の種類・住宅の 所有関係別住居の状況 -----	82	166. 雁が原青少年旅行村利用状況 -----	94
		167. 海洋センター利用状況 -----	95
		168. 勤労青少年体育センター利用状況 -----	95

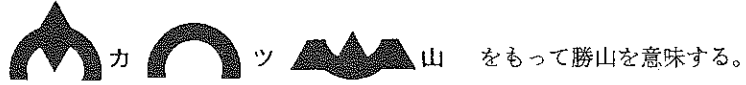
169. 林業者トレーニングセンター利用状況	----	95
170. 市営体育館利用状況	-----	95
171. 勤労婦人センター利用状況	-----	96
172. 勝山温泉センター“水芭蕉”利用状況	----	96
173. 市内観光案内図	-----	98
★その他	-----	100
主な官公舎・機関等	-----	100

1. 市制施行及び市章の説明

市制施行 -- 昭和29年9月1日

勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の1町8カ村が合併。

市章の説明



福井、大野、金沢の三方面への発展を三角の各頂点であらわし、丸は和合、三角はどっしりとした安定性を意味し、三角と丸を組み合わせることで勝山市としての将来の発展へを意味する。

1. 市制施行及び市章の説明

市制施行 -- 昭和29年9月1日

勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の1町8カ村が合併。

市章の説明



福井、大野、金沢の三方面への発展を三角の各頂点であらわし、丸は和合、三角はどっしりとした安定性を意味し、三角と丸を組み合わせて勝山市としての将来の発展へを意味する。



2. 地 勢

勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約28kmの地点にあり、東南は大野市、西南、南は吉田、坂井、足羽の三郡に、北は石川県に隣接し、市の周辺は大小の山々に囲まれ、その中心部を東南より西北にかけて県下最大河川である九頭竜川の中流に位置し、その流域は勝山盆地を形成しており、市の中心地は商工業の発達した地域となり、繊維工業と農業を基幹産業とする水とみどりの豊かな田園都市である。

3. 位 置

東 経	北 緯	標 高		面 積	長 さ	
		最 高	最 低		東 西	南 北
136°23'34"	36°0'13"	1,671 ^m	75 ^m	253.68 ^{Km²}	23.3 ^{Km}	17.0 ^{Km}
136°39'44"	36°9'17"					

4. 土 地

各年1月1日現在（単位：^{Km²}）

区 分	地目別面積	田	畑	宅 地	山 林	原 野	牧場その他
昭和63年	104.87	19.89	1.66	4.46	74.87	2.64	1.35
平成元年	104.62	19.91	1.64	4.58	74.76	2.37	1.36
2年	117.27	20.60	2.01	4.83	84.67	3.53	1.63
3年	116.69	20.42	1.99	4.90	84.14	3.53	1.71
4年	116.15	20.37	1.96	4.94	83.56	3.54	1.78

資料：税務課調（課税分のみ）

5. 沿 革

本市には、古く縄文時代から九頭竜川の両河岸段丘に人が住んでいたことが、点在する遺跡によって明らかである。

白鳳時代、泰澄により白山中宮平泉寺が開かれ、白山信仰の一大拠点として全盛時は48社36堂6千坊を誇り、寺を中心に座(同業組合)がつくられ商工業が繁栄し、また、文化も大いに高まり、越前文化の中心的存在として栄えたが、一向宗徒の一揆により一夜にしてその栄華を失った。

その後、柴田氏が一揆を鎮め、城を築きこれを統治した。一揆の勝利へ導いた御立山(通称村岡山)を“勝ち山”と呼んだことから、勝山の地名が起ったといわれ、防備都市としての役割をもつ城下町が形成された。

江戸時代、小笠原氏が入封、明治に至るまで藩政が続いた。廃藩置県後機業がぼつ興し、羽二重を中心とする絹織物の製造が盛んになり、さらに昭和初期には人絹織物の導入によって織物立国を形成した。戦後は、設備の近代化、技術革新により高級合織織物の一大産地として国内外に知られている。

一方、行政の組織は明治の市制町村制により、現市域内に、1町9カ村が誕生、その後猪野瀬村が勝山町に吸収合併され、昭和29年9月1日町村合併法により、勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の1町8カ村が合併し市制を施行、人口39,043人の勝山市が発足した。

以後、行政の充実、市民の努力によって順調に近代都市化が進展してきているものの、人口は高度経済成長による大都市集中化により次第に減少し、平成2年の国勢調査人口は29,805人となっている。

6. 産 業

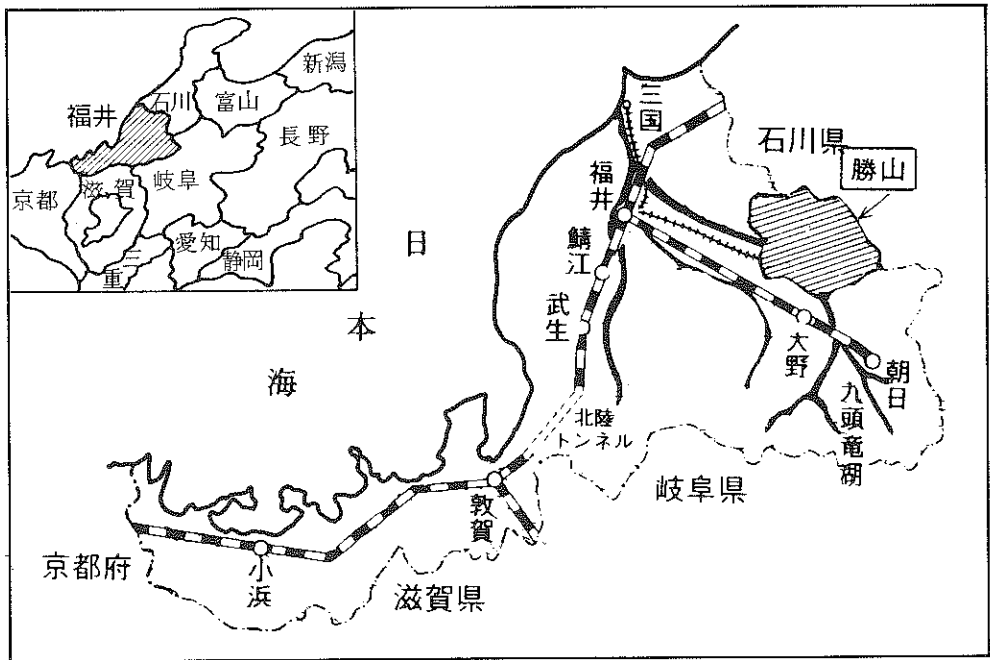
本市の主要産業である織物製造業は、いくたびかの不況に見舞われたにもかかわらず、勝山市民特有のねばり強さと勤勉によって試練を乗り越えた。新製品や高付加価値商品の開発を図るなかで、時代に対応した生産体制の整備を進め、織物産地として今日に至っている。

農業については、土地改良、ほ場整備事業、農村総合整備モデル事業などの推進により、営農基盤の強化改善が図られ、良質米の生産や里いも、いちご、葉たばこ、スイートコーン、勝山水菜等が特産品として出荷されている。

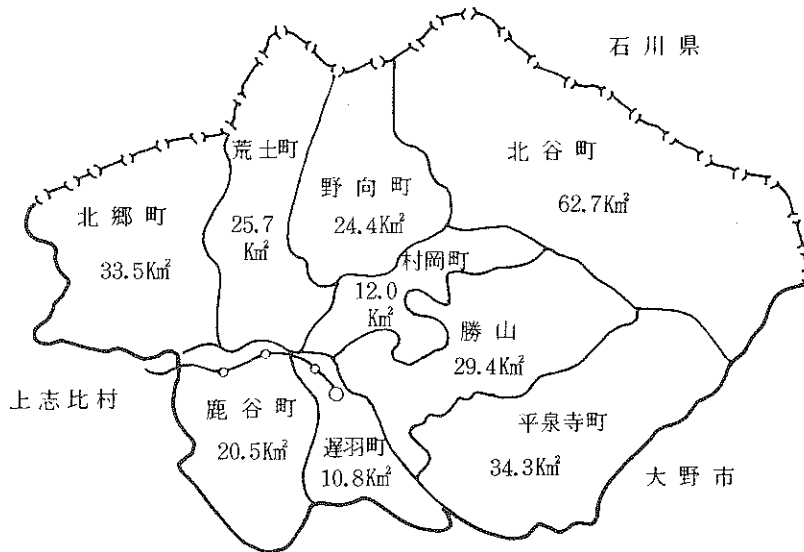
観光面では、1300年の歴史を秘めた平泉寺や千古に輝く越前大仏等有名な観光地があり、全国から多くの観光客が訪れている。現在、市の将来を託した法恩寺山、芳野原リゾート開発に着手。西日本有数のスキー場を中心とした一大メッカとして、観光都市を目ざしている。

この他、近年の積極的な企業誘致により機械工場、自動車部品工場、弱電製造工場、縫製工場等が進出し、市内の雇用も拡大され、活力と魅力あふれる都市づくりをめざして着々進展してきている。

位置



7. 面積 (253.68Km²)



歴史

8. 勝山市の歴史

西 歴	年 号	主 な 出 来 事
紀元前1万年前	旧石器～縄文時代	日本では土を焼いて器を作り始めた頃で、平泉寺町赤尾地区の池から発見された槍先形尖頭器は、動物を捕獲するための槍の先に付けられた石器である 勝山市内最古の加工品
紀元前5000年頃	縄文時代 早期	滝波地区破入・壁倉地区幕根・崎崎地区三室・暮見地区古宮などの各遺跡が形成される
紀元前2500年頃	縄文時代 中期	三室遺跡や滝波遺跡付近に縄文集落が形成される
紀元前1500年頃	縄文時代 後期	鹿谷町本郷遺跡や北郷町上野遺跡が形成される
紀元前500年頃	縄文時代 晩期	猪野口地区大島田遺跡や北郷町志比原遺跡が形成される
紀元前100年頃	弥生 時代	鹿谷町発坂や北郷町森川周辺の段丘上に弥生集落が形成される
300～500年頃	古墳 時代	荒土町別所や平泉寺町大渡、鹿谷町発坂、西光寺など集落を見下ろす山の尾根上に有力な人々の古墳がつくられる
717	養老 元年	泰澄大師が平泉寺を開いたと伝えられる
930年頃	承平 年間	古文書に猪野毛屋付近をさすと思われる「毛屋郷」の名が見れる
1084	応徳 元年	平泉寺、比叡山延暦寺末となり、勢力を拡大する
1339	延元 4 年	新田義貞の家臣、畑時能は伊知地の鷲ヶ岳城にて戦死する
1524	大永 4 年	平泉寺祭礼に際し流鏝馬の神事がおこなわれる
1539	天文 8 年	平泉寺賢聖院、約500石の領地を朝倉氏より認められる
1574	天正 2 年	平泉寺、一向一揆により全山焼失する
1580	天正 8 年	柴田勝安、現在の市民会館の地に勝山城を建設する
1598	慶長 3 年	大閣検地始まる
1601	慶長 6 年	福井城主松平秀康の領地となり、家臣の林長門が勝山城代となる
1691	元禄 4 年	勝山城主として小笠原貞信、美濃高須より移封される
1726	享保 11 年	女神川上流山崩あり（死者100人余、全壊50戸）
1771	明和 8 年	勝山領内52カ村騒動 勝山領内凶作飢饉し湯命願33カ村 当時戸数2,859戸、人口11,560人
1836	天保 7 年	大飢饉2年続き 餓死者多し
1841	天保 12 年	読書堂(後の成器堂)創設 天保改革諸禁令出る 大洪水
1869	明治 2 年	小笠原長守 勝山藩知事に任命される
1871	明治 4 年	勝山県を廃し福井県となる 福井県を廃し足羽県となる
1872	明治 5 年	勝山郵便役所創立 学制発布により成器小学校をはじめ21の小学校創設、区制改正全町村17大区になる
1873	明治 6 年	足羽県廃し敦賀県となり第2930大区12町78村に企画される
1876	明治 9 年	敦賀県を廃し石川県26大区に所属される 勝山製糸(工場)創業される

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1878	明 治 11 年	大小区を廃し郡に郡長、町村に戸長が置かれる
1881	明 治 14 年	石川、滋賀の 2 県より若越11郡を分離して福井県となる 大野警察署勝山分署できる
1888	明 治 21 年	製糸業大いに興り、製品を海外に輸出する
1889	明 治 22 年	町村制実施され勝山町、猪野瀬、平泉寺、村岡、野向、北谷、遅羽、荒土、北郷、鹿谷(1町9カ村)となる
1896	明 治 29 年	勝山町大火(罹災戸数1,200余戸)
1897	明 治 30 年	勝山葉タバコ専売所開設する
1902	明 治 35 年	勝山～小舟渡間、勝山～大野間に乗合馬車開通する
1911	明 治 44 年	勝山町電話開通する 県営産米検査開始
1914	大 正 3 年	福井～勝山～大野間越前電鉄開通する
1915	大 正 4 年	勝山橋架橋
1920	大 正 9 年	第1回国勢調査
1931	昭 和 6 年	猪野瀬村を勝山町に編入
1932	昭 和 7 年	人絹織物業が盛んとなり、工場数69、工員3,000人、生産額1,300万円に達する
1942	昭 和 17 年	私立勝山精華高等女学校設立
1947	昭 和 22 年	公職選挙法施行により公選町長となる(初代 山内 謙)
1948	昭 和 23 年	勝山高等学校開校
1949	昭 和 24 年	勝山商工会創立
1950	昭 和 25 年	勝山中学校及び成器南小学校新築落成
1954	昭 和 29 年	1町8カ村合併し勝山市発足する(初代市長 山内継喜)
1956	昭 和 31 年	雁ヶ原スキー場開設 財政再建団体の指定うく
1957	昭 和 32 年	北部中学校開校する 原山スキー場開設
1958	昭 和 33 年	新市庁舎落成
1959	昭 和 34 年	伊勢湾台風猛威ふるう 損害5億円
1961	昭 和 36 年	市消防本部、市消防署設置 第2室戸台風による被害2億円
1962	昭 和 37 年	白山国定公園が国立公園に昇格 市有林100万本植樹完了 電話自動化
1963	昭 和 38 年	100年来の豪雪におそわれる 被害10億円 勝山橋かけかえ工事完成 勝山病院完成 市上水道建設事業竣工 農業構造改善事業計画地域としての指定及び低開発地域工業開発地区の指定をうける 大選挙区制決議
1964	昭 和 39 年	勝山新大用水完成 市制10周年記念行事実施 勝山市都市計画正式に決まる
1965	昭 和 40 年	市農協誕生 市農業センター完成 緊急道路整備3カ年計画に着手 40.9 三大風水害当市をおそう 被害総額18億円
1966	昭 和 41 年	交通安全都市宣言及び青少年愛護都市宣言 福井～勝山線県道舗装完成 新住居表示実施

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1967	昭和 42 年	中部中学校普通校舎完成 市民会館落成
1968	昭和 43 年	第23回国民体育大会 勝山市で4種目開催 財政再建団体の指定をうく
1969	昭和 44 年	市荒川大橋完成
1970	昭和 45 年	下荒井橋完成
1971	昭和 46 年	雇用促進住宅、勤労青少年体育センター、老人センター完成 大野・勝山地区広域市町村圏計画決まる
1972	昭和 47 年	国道157号線 新谷トンネル開通
1973	昭和 48 年	勝山市総合振興計画決まる
1974	昭和 49 年	南部中学校開校（中学校統合計画完了） 京福電鉄越前本線 勝山～大野間廃線 市制20周年記念行事
1975	昭和 50 年	成器西小学校が旧勝山中跡へ移転 財政再建計画5年短縮して完了 勝山市名誉市民条例制定
1976	昭和 51 年	教育福祉会館落成 名誉市民第1号多田清氏誕生 多田育英基金設立 中央公園完成 市公共下水道事業着手
1977	昭和 52 年	農村総合整備事業着手 農協カントリーエレベーター完成（伊波）
1978	昭和 53 年	市庭球場完成 市弓道場完成 勝山・上志比衛生センター完成
1979	昭和 54 年	長山公園グラウンド夜間照明施設完成 北児童センター完成 一般国道157号（勝山国道）開通
1980	昭和 55 年	東山いこいの森完成 農協カントリーエレベーター完成（岡横江）
1981	昭和 56 年	56豪雪におそわれる 国道416号 昇格決まる 勝山市新総合振興基本構想の策定 浄化センターの着工 消防本部、消防署発足20周年記念行事 東縦貫線長山トンネル着工 商工会議所創立30周年記念行事 南児童センター完成
1982	昭和 57 年	2市1村の連携による奥越青少年愛護センターを設置 越前大仏起工式 北部中学校校舎改築 遅羽農村環境改善センター落成 西児童センター完成 遅羽農村環境改善センター完成

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1982	昭和 57 年	村岡小学校校舎増改築 勤労婦人センター完成
1983	昭和 58 年	勝山海洋センター完成 林業者健康トレーニングセンター完成 勝山浄化センター定礎式 越前大仏・大仏殿上棟式 越前大仏・五重塔・九龍壁起工式 クリーンセンター起工式
1984	昭和 59 年	市営住宅本町団地完成 南保育所完成 野向小学校校舎完成 長山トンネル開通 雁ヶ原青少年旅行村開設 越前大仏大門・中門・回廊起工式 市制30周年記念 奥越地域地場産業振興センター起工式 大野・勝山広域農道起工式 国道416号バイパス 伊波～滝波間開通 成器西小学校大規模修繕
1985	昭和 60 年	克雪センター完成 勝山浄化センター通水式 荒土小学校校舎完成 奥越地域地場産業振興センター竣工式 越前大仏五重塔上棟式 クリーンセンター火入れ式 奥越花卉集出荷場竣工式
1986	昭和 61 年	温泉ボーリング調査起工式（村岡町浄土寺地係） 全市ゴミ収集開始 農業共済事業奥越で広域化 国道157号谷トンネル付近で土石流発生 北郷児童センター落成 国が選ぶ水辺環境100選に「弁天緑地」 日本の道100選に「中宮平泉寺参道」 林道河合線完成
1987	昭和 62 年	克雪センター除雪機械格納庫完成 特別養護老人ホーム「さくら荘」落成 越前大仏開眼、落慶法要 勝山市日中友好協会設立

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1987	昭和 62 年	村岡小学校第 2 体育館落成
1988	昭和 63 年	北部中学校体育館落成 さくら荘 デイ・サービスセンター落成 鹿谷児童センター落成 農協会館新館落成 北谷町で 1 億 2 千万年前の肉食恐竜の化石発見 広域基幹林道「法恩寺線」全線開通 勝山商工会館新築落成
1989	平成 元年	勝山南高校開校式 (社)シルバー人材センター発足 一般廃棄物(不燃物)最終処分場「グリーンヒル上野」完成 「平泉寺坊院跡」発掘調査開始
1990	平成 2 年	第 3 次勝山市総合振興計画基本構想の策定 ニューメディアコミュニティ パソコン実験ネット開局 勝山温泉センター“水芭蕉”落成 農協カントリーエレベーター増設(伊波) 消防庁舎落成
1991	平成 3 年	勝山市立図書館落成 “ふれあい会館”落成 野向小学校屋内運動場改築 荒土小学校プール改築

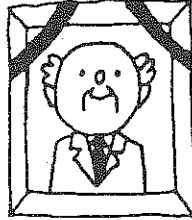
市民生活

出生



月 23.3 人

死亡



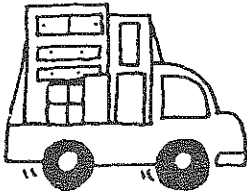
月 22.2 人

転入



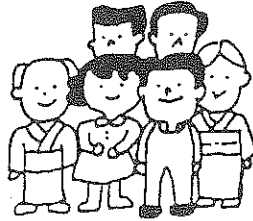
月 40.0 人

転出



月 59.8 人

人口密度



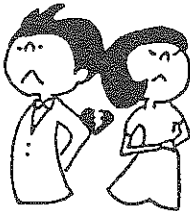
1 ㎧ 当り 119.1 人

結婚



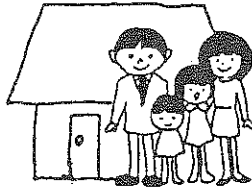
月 10.7 組

離婚



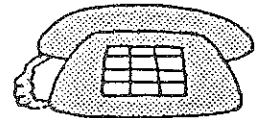
月 1.9 組

家族



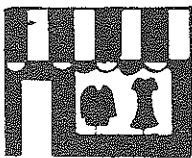
1 世帯に 3.9 人

電話



1 世帯に 1.3 台

商店



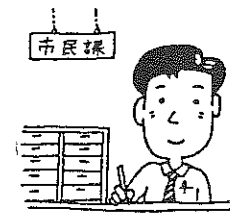
13.2 世帯に 1 店

教員



小学生 18.4 人に 1 人
中学生 18.4 人に 1 人

市職員



市民 90.2 人に 1 人

消防職員



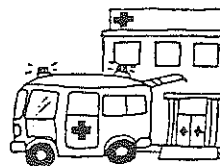
市民915.6人に1人

医師



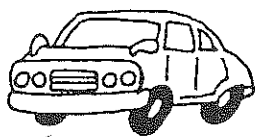
市民642.9人に1人

救急車出動



月34.7件

自家用自動車



1世帯に2.2台

交通事故



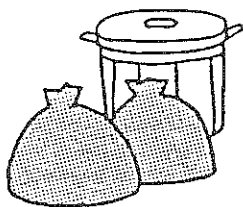
月10.8件

火災



30日に1件

ゴミの収集量



1世帯1日当り2.0kg

上水道



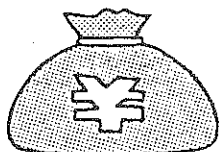
1人1日当りの使用量
0.22 m³

下水道



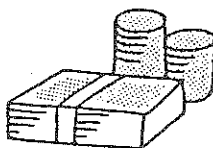
普及率54.4%

市税



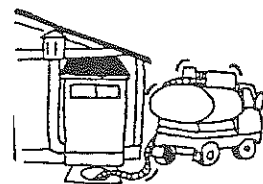
市民1人当り167.217円

市の予算



市民1人当り606.504円

し尿収集量



1世帯1日当り2.8ℓ

気 象

9. 気象の概況

平成3年

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	
気 温	平 均	日平均℃	1.4	0.8	5.9	12.7	16.7	22.2	23.9	25.0	22.5	15.5	9.2	6.1	13.5
		日最高℃	4.1	4.0	10.5	19.1	22.1	26.7	28.5	29.9	27.9	19.7	14.6	11.0	18.2
		日最低℃	-1.2	-2.2	1.9	6.6	12.0	18.3	20.4	21.1	18.3	11.9	4.4	2.3	9.5
	極	最高℃	10.0	12.2	17.2	27.1	29.7	33.0	35.7	35.3	33.9	25.7	20.8	17.2	35.7
		起 日	1	15	19	12	24	26	23	19	6	4	3	17	7/23
		最低℃	-7.7	-7.5	-5.6	-1.3	1.2	12.2	17.5	17.2	12.1	5.8	-1.0	-2.3	-7.7
	日 数	起 日	24	27	2	3	4	5	7	28	29	23	25	21	1/24
		最高 $\geq 25^{\circ}\text{C}$	0	0	0	2	9	24	27	29	26	2	0	0	119
		最低 $< 0^{\circ}\text{C}$	21	23	9	3	0	0	0	0	0	0	3	6	65
	降 水 量	合 計 mm	375	393	166	109	98	247	398	205	114	236	174	177	2692
最 大		日 量 mm	60	55	27	17	26	53	75	71	29	76	44	36	76
		起 日	13	24	22	29	31	29	27	30	14	1	28	28	10/1
日 数		≥ 1 mm	28	26	19	12	12	14	21	13	9	17	17	17	205
		≥ 10 mm	15	14	8	6	3	8	12	5	5	6	7	7	96
		≥ 30 mm	2	4	0	0	0	3	5	3	0	1	2	1	21
風	最大風速 m/s	10	12	8	9	9	7	7	7	16	7	6	8	16	
	同上 風向	S	S	S	SSW	S	S	S	SSE	SSE	SSE	SSE	SE	SSE	
	同上 起日	24	15	30*	23*	8	9	29	28	27	17	27	23	9/27	
日照時間 h	50.7	51.2	117.5	168.2	120.7	73.5	51.7	126.9	138.1	93.4	117.6	87.5	1197.0		
不照日数	6	4	9	5	7	13	14	4	4	9	4	8	87		
雪	最深積雪 cm	59	128	55	—	—	—	—	—	—	—	—	16	128	
	同上 起日	16	24	1	—	—	—	—	—	—	—	—	30	2/24	
	積雪日数	31	28	16	—	—	—	—	—	—	—	—	5	80	
	降雪の深さ合計 cm	154	262	7	—	0	—	—	—	—	—	—	0	25	448
	降雪の深さ最大値 cm	22	59	5	—	0	—	—	—	—	—	—	0	15	101

資料：福井地方気象台

- (注) 1. 気温は毎正時の値、降積雪の深さは午前9時。
 2. 風向は16方位で、Nは北、Sは南、Eは東、Wは西。
 3. *は同一の極値が複数あることを表し、日付は新しい日を表示。
 4. 地域気象観測システム(A Me DAS)による観測の結果を記載したものです。

10. 過去の気象最高(低)記録

区 分	記 録	記 録 年 月 日	備 考(期間)
最 高 気 温 (極)	37.8℃	昭和35年 8 月 2 日	大正元年～平成3年
最 低 気 温 (極)	-14.7℃	大正2年 2 月 12 日	大正元年～平成3年
日 最 大 降 水 量	232mm	昭和40年 9 月 14 日	明治32年～平成3年
最 深 積 雪	325cm	昭和38年 1 月 31 日	大正2年～平成3年
日 最 大 降 雪 深	100cm	昭和55年 12 月 28 日	昭和21年～平成3年
日 最 大 風 速	16m/s 南南東	平成3年 9 月 27 日	大正2年～平成3年

資料：福井地方気象台

11. 年別最深積雪

(単位：cm)

区 分	積 雪	起 日	区 分	積 雪	起 日
昭和49年	146	2 月 14 日	昭和58年	140	2 月 21 日
50年	105	1 月 20 日	59年	165	2 月 10 日
51年	120	1 月 24 日	60年	140	1 月 30 日
52年	—	—	61年	158	1 月 12 日
53年	110	2 月 4 日	62年	97	3 月 1 日
54年	55	1 月 16 日	63年	76	2 月 10 日
55年	165	2 月 17 日	平成元年	35	1 月 29 日
56年	270	1 月 15 日	2 年	80	1 月 26 日
57年	51	2 月 10 日	3 年	128	2 月 24 日

資料：福井地方気象台

12. 月別平均気温・降水量の準平年値

平成3年 (単位：℃、mm)

区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年
平均気温	1.4	0.8	5.9	12.7	16.7	22.2	23.9	25.0	22.5	15.5	9.2	6.1	13.5
最高気温平均	4.1	4.0	10.5	19.1	22.1	26.7	28.5	29.9	27.9	19.7	14.6	11.0	18.2
最低気温平均	-1.2	-2.2	1.9	6.6	12.0	18.3	20.4	21.1	18.3	11.9	4.4	2.3	9.5
降 水 量	375	393	166	109	98	247	398	205	114	236	174	177	2692

資料：福井地方気象台

- (注) 1. 平均気温は毎正時の24回平均。
 2. 最高気温・最低気温は毎正時の値。
 3. 統計期間は昭和54年から平成3年。

世帯と人口

13. 世帯数と人口

各年10月1日現在（単位：人）

区 分	世帯数	人 口				1 世帯 当り人口	人口密度 (Km ²)
		総 数	男	女	女百人に 対する男		
大 正 9 年 〔第 1 回国勢調査〕	5,862	28,852	13,923	14,929	93.3	4.9	113.7
14 年 〔第 2 回国勢調査〕	5,777	28,381	13,909	14,472	96.1	4.9	111.9
昭 和 5 年 〔第 3 回国勢調査〕	—	29,092	14,284	14,808	96.5	—	114.7
10 年 〔第 4 回国勢調査〕	—	31,945	15,658	16,287	96.1	—	125.9
15 年 〔第 5 回国勢調査〕	6,333	31,404	15,341	16,063	95.5	5.0	123.8
22 年 〔第 6 回国勢調査〕	—	37,485	17,622	19,863	88.7	—	147.8
25 年 〔第 7 回国勢調査〕	7,598	38,962	18,502	20,460	90.4	5.1	153.6
30 年 〔第 8 回国勢調査〕	7,452	37,556	17,727	19,829	89.4	5.0	148.0
35 年 〔第 9 回国勢調査〕	7,584	36,531	16,989	19,542	86.9	4.8	144.0
40 年 〔第10回国勢調査〕	7,473	34,828	16,248	18,580	87.4	4.7	137.3
43 年 〔推 計 人 口〕	7,258	33,284	15,644	17,640	88.7	4.6	131.2
44 年 〔推 計 人 口〕	7,154	32,946	15,506	17,440	88.9	4.6	129.9
45 年 〔第11回国勢調査〕	7,532	32,691	15,417	17,274	89.2	4.3	128.9
46 年 〔推 計 人 口〕	7,585	32,218	15,222	16,996	89.6	4.2	127.0
47 年 〔推 計 人 口〕	7,595	32,679	15,679	17,000	92.2	4.3	128.8
48 年 〔推 計 人 口〕	7,638	32,478	15,643	16,835	92.9	4.3	128.0
49 年 〔推 計 人 口〕	7,718	31,321	14,941	16,380	91.2	4.1	123.5
50 年 〔第12回国勢調査〕	7,652	31,025	14,929	16,096	92.7	4.1	122.3
51 年 〔推 計 人 口〕	7,628	30,913	14,940	15,973	93.5	4.1	121.9
52 年 〔推 計 人 口〕	7,644	30,717	14,886	15,831	94.0	4.0	121.1
53 年 〔推 計 人 口〕	7,657	30,539	14,795	15,744	94.0	4.0	120.4
54 年 〔推 計 人 口〕	7,675	30,519	14,799	15,720	94.1	4.0	120.3

区 分	世帯数	人 口				1世帯 当り人口	人口密度 (Km ²)
		総 数	男	女	女百人に 対する男		
昭 和 55 年 〔第13回国勢調査〕	7,731	30,852	14,962	15,890	94.2	4.0	121.6
56 年 〔推 計 人 口〕	7,747	30,720	14,885	15,835	94.0	4.0	121.1
57 年 〔推 計 人 口〕	7,762	30,531	14,775	15,756	93.8	3.9	120.4
58 年 〔推 計 人 口〕	7,760	30,507	14,747	15,760	93.6	3.9	120.3
59 年 〔推 計 人 口〕	7,766	30,463	14,730	15,733	93.6	3.9	120.1
60 年 〔第14回国勢調査〕	7,718	30,416	14,715	15,701	93.7	3.9	119.9
61 年 〔推 計 人 口〕	7,695	30,324	14,629	15,695	93.2	3.9	119.5
62 年 〔推 計 人 口〕	7,702	30,274	14,610	15,664	93.3	3.9	119.3
63 年 〔推 計 人 口〕	7,687	30,227	14,564	15,663	93.0	3.9	119.2
平 成 元 年 〔推 計 人 口〕	7,688	30,112	14,514	15,598	93.1	3.9	118.7
2 年 〔第15回国勢調査〕	7,701	29,805	14,400	15,405	93.5	3.9	117.5
3 年 〔推 計 人 口〕	7,701	29,559	14,294	15,265	93.6	3.8	116.5
平成4年4月1日 〔住民基本台帳〕	7,713	30,216	14,656	15,560	94.2	3.9	119.1

資料：福井県情報統計課・「福井県の推計人口」

- (注) 1. 4年4月の数は市民課の住民基本台帳によるもので、推計人口の発表があり次第修正する。
2. 推計人口＝常住(国勢調査)人口＋〔出生－死亡〕＋〔転入－転出〕

14. 地区別世帯数及び人口

平成3年10月1日現在 (単位：人)

区 分	世 帯 数	人 口			1世帯当り 人 口
		総 数	男	女	
総 数	7,701	29,805	14,400	15,405	3.9
勝 山	3,931	14,040	6,744	7,296	3.6
平 泉 寺	328	1,600	777	823	4.9
村 岡	1,189	4,678	2,280	2,398	3.9
北 谷	107	319	138	181	3.0
野 向	248	1,040	505	535	4.2
荒 土	521	2,354	1,122	1,232	4.5
北 郷	532	2,291	1,120	1,171	4.3
鹿 谷	592	2,382	1,172	1,210	4.0
遅 羽	253	1,101	542	559	4.4

資料：国勢調査

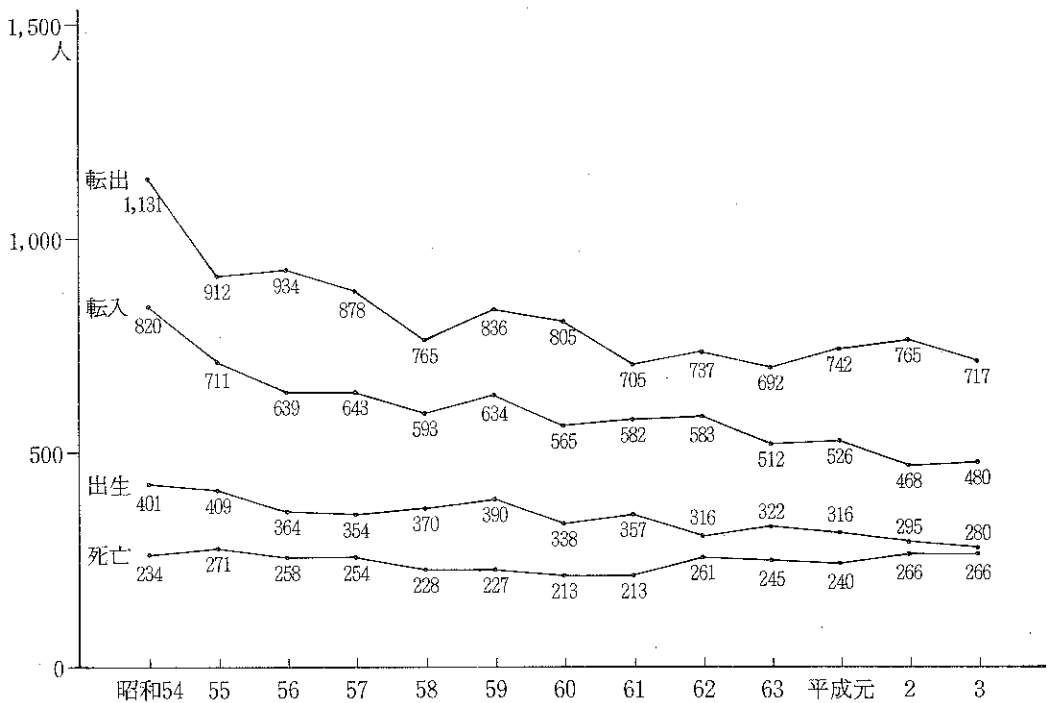
15. 人口動態（過去10カ年）

（単位：人）

区 分	自 然 動 態			社 会 動 態			自然動態 と社会動 態の増減	婚 姻	離 婚
	出 生	死 亡	増 減	転 入	転 出	増 減			
昭和57年度	354	254	100	643	878	△235	△135	238	31
58年度	370	228	142	593	765	△172	△30	157	22
59年度	390	227	163	634	836	△202	△39	165	23
60年度	338	213	125	565	805	△240	△115	155	27
61年度	357	213	144	582	705	△123	21	156	26
62年度	316	261	55	583	737	△154	△99	152	18
63年度	322	245	77	512	692	△180	△103	139	11
平成元年度	316	240	76	526	742	△216	△140	153	22
2年度	295	266	29	468	765	△297	△268	126	16
3年度	280	266	14	480	717	△237	△223	128	23

資料：市民課

16. 人口動態の推移



17. 年令別(5歳階級)人口

各年10月1日現在(単位:人)

区 分	昭 和 55 年			昭 和 60 年			平 成 2 年		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	30,852	14,962	15,890	30,416	14,715	15,701	29,805	14,400	15,405
0～4才	2,094	1,064	1,030	1,851	956	895	1,615	832	783
5～9	2,436	1,251	1,185	2,116	1,074	1,042	1,874	969	905
10～14	2,111	1,074	1,037	2,424	1,260	1,164	2,107	1,071	1,036
15～19	2,048	1,046	1,002	1,744	871	873	1,990	1,048	942
20～24	1,619	792	827	1,447	671	776	1,215	532	683
25～29	2,219	1,137	1,082	1,743	888	855	1,513	740	773
30～34	2,422	1,292	1,130	2,224	1,134	1,090	1,738	862	876
35～39	1,865	937	928	2,372	1,255	1,117	2,199	1,115	1,084
40～44	1,934	920	1,014	1,821	909	912	2,332	1,223	1,109
45～49	2,261	1,090	1,171	1,898	904	994	1,816	911	905
50～54	2,501	1,221	1,280	2,235	1,076	1,159	1,860	883	977
55～59	1,925	826	1,099	2,380	1,156	1,224	2,168	1,045	1,123
60～64	1,553	675	878	1,843	774	1,069	2,292	1,092	1,200
65～69	1,404	597	807	1,443	625	818	1,755	734	1,021
70～74	1,108	497	611	1,234	508	726	1,291	547	744
75～79	750	320	430	892	384	508	1,041	409	632
80～84	395	166	229	483	182	301	632	259	373
85～89	166	50	116	203	71	132	258	91	167
90才以上	41	7	34	63	17	46	109	37	72

資料: 国勢調査

18. 産業分類別・従業上の地位別就業者

各年10月1日現在 (単位:人)

区 分	昭和60年	平成 2 年					
		総 数	雇用者	役 員	雇 人 の ある業主	雇 人 の ない業主	家 族 従 業 者
総 数	16,992	16,417	11,201	584	442	2,231	1,959
第 1 次 産 業	2,342	1,849	59	3	10	971	806
農 業	2,283	1,809	26	2	10	966	805
林 業・狩 猟 業	57	39	32	1	—	5	1
漁 業・水 産 業	2	1	1	—	—	—	—
第 2 次 産 業	8,059	7,596	5,960	352	223	548	513
鉱 業	35	21	15	2	1	1	2
建 設 業	1,871	1,800	1,332	112	114	144	98
製 造 業	6,153	5,775	4,613	238	108	403	413
第 3 次 産 業	6,586	6,969	5,180	229	209	712	639
卸 売・小 売 業	2,492	2,454	1,304	130	124	421	475
金 融・保 険 業	290	319	304	5	1	7	2
不 動 産 業	14	21	14	6	—	1	—
運 輸・通 信 業	708	658	613	18	3	19	5
電 気・ガ ス・水 道 業	114	91	91	—	—	—	—
サ ー ビ ス 業	2,556	2,992	2,420	70	81	264	157
公 務	412	434	434	—	—	—	—
分 類 不 能 の 産 業	5	3	2	—	—	—	1

資料：国勢調査

19. 人口集中地区【DID】

各年10月1日現在 (単位:人、Km²)

区 分	人 口	面 積	人 口 密 度 (1Km ² あたり)
昭 和 45 年	13,606	1.5	9,071
50 年	13,337	2.5	5,335
55 年	12,820	2.4	5,342
60 年	12,326	2.6	4,741
平 成 2 年	12,793	2.9	4,411

資料：国勢調査

20. 通勤・通学別流出口【15歳以上】

平成2年10月1日現在（単位：人）

区 分	勝山市から他市町村へ		
	総 数	就 業 者	通 学
〔A〕 県内他市町村への通勤、通学者	3,212	2,953	259
福 井 市	1,990	1,828	162
敦 賀 市	10	10	—
武 生 市	18	16	2
大 野 市	741	650	91
鯖 江 市	37	36	1
松 岡 町	79	78	1
永 平 寺 町	112	112	—
上 志 比 村	57	57	—
丸 岡 町	64	62	2
その他の市町村へ	104	104	—
〔B〕 県外への通勤、通学者	127	124	3
石 川 県 へ	106	103	3
その他の都道府県へ	21	21	—
合 計〔A+B〕	3,339	3,077	262

資料：国勢調査

21. 通勤・通学別流入人口【15歳以上】

平成2年10月1日現在（単位：人）

区 分	他市町村から勝山市へ		
	総 数	就 業 者	通 学
〔A〕 県内他市町村より通勤、通学者	1,400	1,149	251
福 井 市	174	174	—
武 生 市	16	12	4
大 野 市	806	688	118
松 岡 町	27	25	2
永 平 寺 町	72	31	41
上 志 比 村	173	95	78
その他の市町村より	132	124	8
〔B〕 県外通勤・通学者	29	29	—
合 計〔A+B〕	1,429	1,178	251

資料：国勢調査

22. 昼間人口

各年10月1日現在（単位：人）

区 分	常住人口 (国調人口)	流 入 人 口			流 出 人 口			昼間人口
		総 数	就業者	通学者	総 数	就業者	通学者	
昭和45年	32,691	815	640	175	2,166	1,733	433	31,340
50年	31,025	944	739	205	2,757	2,259	498	29,212
55年	30,852	1,241	975	266	2,971	2,659	312	29,122
60年	30,416	1,429	1,178	251	3,339	3,077	262	28,506

資料：国勢調査

行政

23. 歴代市長

区 分	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1	山 内 継 喜	昭和29. 10. 15	昭和33. 10. 10
2	〃	昭和33. 10. 16	昭和37. 10. 14
3	山 内 譲	昭和37. 10. 15	昭和41. 10. 14
4	〃	昭和41. 10. 15	昭和45. 10. 14
5	高 野 春 三	昭和45. 10. 15	昭和49. 10. 14
6	〃	昭和49. 10. 15	昭和51. 11. 17
7	池 田 勤 也	昭和51. 12. 26	昭和55. 12. 25
8	〃	昭和55. 12. 26	昭和59. 12. 25
9	〃	昭和59. 12. 26	昭和63. 12. 25
10	今 井 三右衛門	昭和63. 12. 26	現 在

資料：秘書広報課

24. 歴代助役

区 分	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1	光 明 正 道	昭和30. 11. 8	昭和34. 11. 7
2	〃	昭和34. 11. 8	昭和37. 10. 13
3	皿 澤 徳 志	昭和39. 3. 28	昭和43. 3. 27
4	〃	昭和43. 3. 28	昭和47. 3. 27
5	池 田 勤 也	昭和47. 6. 24	昭和51. 6. 23
6	〃	昭和51. 6. 24	昭和51. 12. 16
7	鳥 山 忠 昌	昭和52. 1. 24	昭和56. 1. 23
8	〃	昭和56. 1. 24	昭和60. 1. 23
9	〃	昭和60. 1. 26	平成元. 1. 25
10	山 本 隆 治	平成元. 4. 1	現 在

資料：秘書広報課

25. 歴代収入役

区 分	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1	豊 島 和 助	昭和30. 1. 1	昭和33. 12. 31
2	”	昭和34. 1. 1	昭和37. 12. 31
3	梅 田 薫	昭和38. 4. 10	昭和42. 4. 9
4	”	昭和42. 4. 10	昭和46. 4. 9
5	笠 川 馨	昭和46. 4. 10	昭和50. 4. 9
6	”	昭和50. 4. 10	昭和54. 4. 9
7	”	昭和54. 4. 10	昭和58. 4. 9
8	竹 内 仁	昭和58. 10. 1	昭和62. 9. 30
9	”	昭和62. 10. 1	平成 3. 9. 30
10	諏 訪 芳 郎	平成 3. 10. 1	現 在

資料：秘書広報課

26. 市職員数

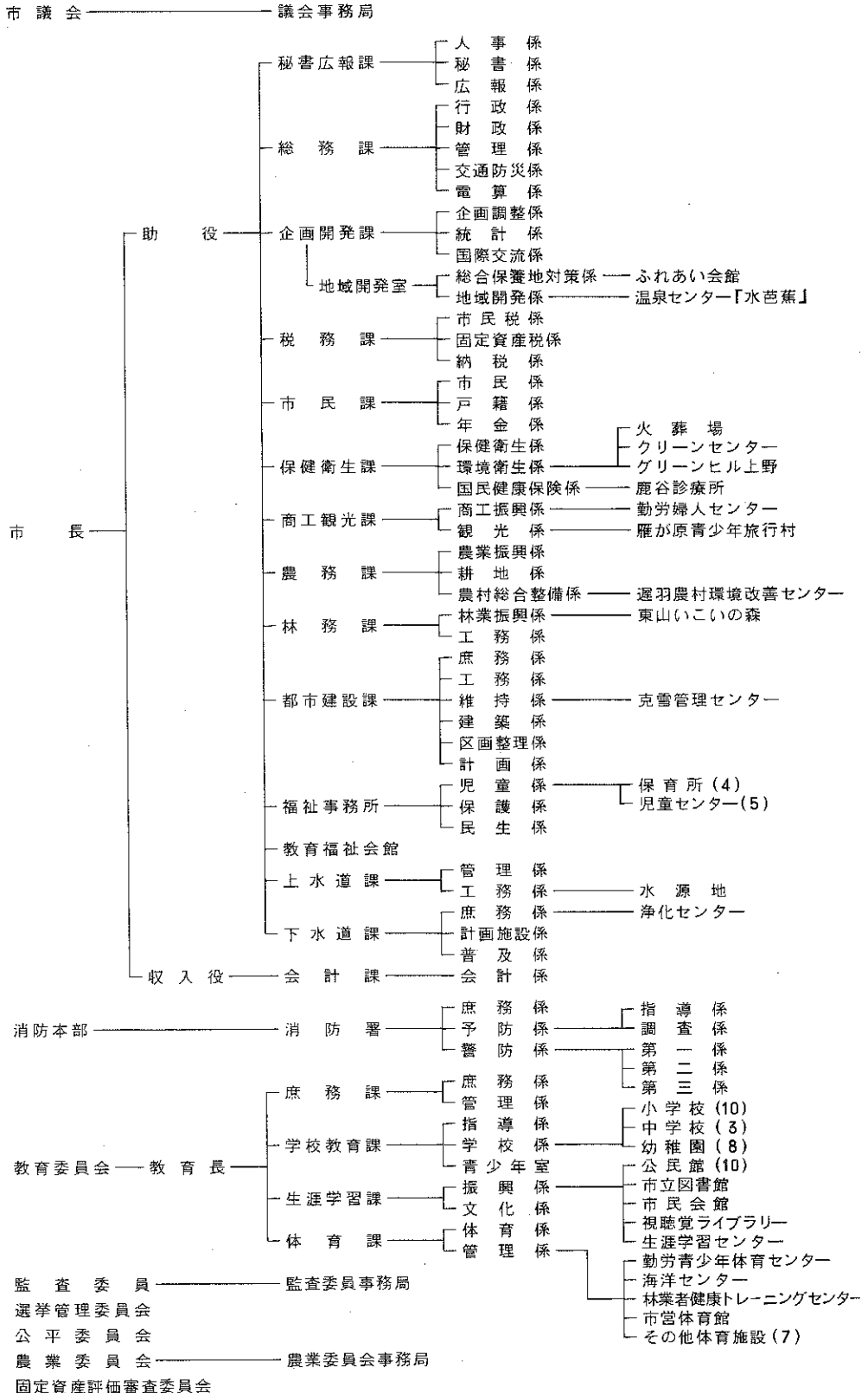
平成 4 年 5 月 1 日現在 (単位：人)

区 分	職 員 数			一般行政職員		技能労務職員		その他の職員	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女
総 数	368	221	147	169	50	19	35	33	62
市長の事務部局	243	150	93	137	41	13	8	—	44
議会の事務部局	4	3	1	3	1	—	—	—	—
監査委員の事務部局	2	1	1	1	1	—	—	—	—
教育委員会の事務部局	86	34	52	28	7	6	27	—	18
消防長の事務部局	33	33	—	—	—	—	—	33	—

資料：秘書広報課

保母37人、教諭18人、保健婦 4 人、看護婦 3 人、消防33人はその他の職員に含む。

27. 勝山市行政機構図



28. 最近の選挙投票状況

区 分	種 別	当 日 有 権 者 数 (人)		
		計	男	女
昭和49. 9. 22	勝山市長・市議会議員補欠選挙	22,045	10,352	11,693
昭和50. 4. 13	福井県知事・県議会議員選挙	22,163	10,406	11,757
昭和50. 8. 10	勝山市議会議員選挙	22,067	10,378	11,689
昭和51. 12. 5	衆議院議員総選挙	22,368	10,583	11,785
昭和52. 7. 10	参議院議員通常選挙	22,333	10,585	11,748
昭和54. 4. 8	福井県知事・県議会議員選挙	22,461	10,706	11,755
昭和54. 8. 5	勝山市議会議員選挙	22,447	10,732	11,715
昭和54. 10. 7	衆議院議員総選挙	22,546	10,782	11,764
昭和55. 6. 22	衆議院議員総選挙・参議院議員通常選挙	22,610	10,825	11,785
昭和55. 11. 30	勝山市長選挙	22,506	10,774	11,732
昭和58. 4. 10	福井県知事・県議会議員選挙	22,561	10,784	11,777
昭和58. 6. 26	参議院議員通常選挙	22,655	10,821	11,834
昭和58. 8. 7	勝山市議会議員選挙	22,561	10,780	11,781
昭和58. 12. 18	衆議院議員総選挙	22,694	10,839	11,855
昭和59. 11. 25	勝山市長選挙	22,581	10,794	11,787
昭和61. 7. 6	衆議院議員総選挙・参議院議員通常選挙	22,696	10,819	11,877
昭和62. 4. 12	福井県知事・県議会議員選挙	22,677	10,786	11,891
昭和62. 8. 2	勝山市議会議員選挙	22,594	10,737	11,857
昭和63. 11. 27	勝山市長・市議会議員補欠選挙	22,626	10,758	11,868
平成元. 7. 23	参議院議員通常選挙	22,779	10,826	11,953
平成2. 2. 18	衆議院議員総選挙	22,707	10,784	11,923
平成3. 4. 7	福井県知事・県議会議員選挙	22,599	10,721	11,878
平成3. 8. 4	勝山市議会議員選挙	22,538	10,693	11,845
平成4. 7. 28	参議院議員通常選挙	22,603	10,730	11,873

29. 地区別基本選挙人名簿登録者数

平成4年3月28日現在 (単位:人)

区 分	総 計	勝 山	猪野瀬	平泉寺	村 岡	北 谷	野 向	荒 土	北 郷	鹿 谷	遅 羽	
登録者数	計	22,695	9,466	1,286	1,143	3,449	312	778	1,779	1,771	1,889	822
	男	10,766	4,439	615	551	1,637	137	377	853	854	912	391
	女	11,929	5,027	671	592	1,812	175	401	926	917	977	431

※猪野瀬には岡横江を含みます。

資料:選挙管理委員会

(単位：人、%)

当日投票者数 (人)			投票率 (%)		
計	男	女	計	男	女
19,793	9,201	10,592	89.78	88.88	90.58
知事 9,928	4,772	5,156	44.80	45.86	43.85
20,562	9,508	11,054	93.18	91.62	94.57
19,619	9,290	10,329	87.71	87.78	87.65
18,598	8,839	9,759	83.28	83.50	83.07
知事 16,585	7,962	8,623	73.84	74.37	73.36
県議 16,583	7,962	8,621	73.83	74.37	73.34
20,733	9,825	10,908	92.36	91.55	93.11
18,255	8,705	9,550	80.97	80.74	81.18
衆議院 19,946	9,570	10,376	88.22	88.41	88.04
参議院 19,944	9,569	10,375	88.21	88.40	88.04
13,208	6,286	6,922	58.69	58.34	59.00
16,433	7,926	8,507	72.84	73.50	72.23
16,246	7,820	8,426	71.71	72.27	71.20
20,809	9,865	10,944	92.23	91.51	92.90
18,604	8,925	9,679	81.98	82.34	81.64
20,377	9,620	10,757	90.24	89.12	91.26
衆議院 19,258	9,210	10,048	84.85	85.13	84.60
参議院 19,251	9,208	10,043	84.82	85.11	84.56
知事 19,285	9,121	10,164	85.04	84.56	85.48
県議 19,287	9,121	10,166	85.05	84.56	85.49
20,941	9,862	11,079	92.68	91.85	93.44
市長 16,724	7,916	8,808	73.91	73.58	74.22
市議補 16,715	7,908	8,807	73.88	73.51	74.21
18,545	8,879	9,666	81.41	82.02	80.87
19,551	9,224	10,327	86.10	85.53	86.61
知事 9,225	4,374	4,851	40.82	40.80	40.84
20,707	9,673	11,034	91.88	90.46	93.15
14,834	7,182	7,652	65.63	66.93	64.45

資料：選挙管理委員会

30. 市議会の機構



31. 議会活動状況

資料：議会事務局
平成3年1月～12月

(1) 本会議の状況

区 分	回 数	会期日数	本会議日数
定例会	4	54	17
臨時会	2	2	2

(2) 委員会の状況

区 分	常 任 委 員 会				特 別 委 員 会						
	総 務	建 設	産 業 経 済	教 育 民 生	決 算	全 員 審 査	下 水 道	地 域 産 業 振 興 対 策	道 路 交 通 対 策	法 恩 寺 山 リゾ ー ト 開 発 推 進	
昭和62年	5	7	4	5	7	11	3	4	7	—	
63年	4	4	4	5	8	8	5	6	6	—	
平成元年	7	5	5	5	7	12	4	5	5	4	
2年	4	6	4	5	8	10	4	4	3	2	
3年	4	5	5	4	13	8	4	4	4	3	

(3) 委員協議会等の状況

区 分	総 務	建 設	産 業 経 済	教 育 民 生	全 員 協 議 会	議 会 運 営
昭和62年	2	—	1	2	14	5
63年	1	—	—	1	13	7
平成元年	4	1	—	4	15	10
2年	3	—	1	3	12	9
3年	1	1	—	2	11	8

(4) 付議事件処理状況

区 分	件 数	可 決 (同 意)	否 決	修 正 決 議	認 定	承 認	継 続 審 査	審 議 未 了	撤 回
市長提出	条 例 案	21	21	—	—	—	—	—	—
	予 算 案	35	35	—	—	—	—	—	—
	決 算	2	—	—	2	—	—	—	—
	契 約	4	4	—	—	—	—	—	—
	同 意 案	6	6	—	—	—	—	—	—
	専 決 承 認 案	5	—	—	—	5	—	—	—
	諮 問	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	13	13	—	—	—	—	—	—	
議員提出	条 例 案	1	1	—	—	—	—	—	—
	会 議 ・ 規 則 案	1	1	—	—	—	—	—	—
	意 見 書 案	10	10	—	—	—	—	—	—
	決 議 案	1	1	—	—	—	—	—	—
選 挙	6	6	—	—	—	—	—	—	
推 せ ん	2	2	—	—	—	—	—	—	
常 任 委 員 改 選	1	1	—	—	—	—	—	—	
決 定	資 格	—	—	—	—	—	—	—	—
	懲 罰	—	—	—	—	—	—	—	—

32. 請願陳情処理状況

区 分	審 議 結 果					
	件数	採 択	不 採 択	審 議 未 了	撤 回	繼 続 審 議
昭 和 62 年	27	17	—	3	—	7
63 年	31	21	—	—	—	10
平 成 元 年	62	33	16	4	—	9
2 年	61	53	1	2	—	5
3 年	52	46	1	2	—	3

資料：議会事務局

33. 歴代の市議会議長と副議長

議 長			副 議 長		
順 位	氏 名	就任年月日	順 位	氏 名	就任年月日
1	山 岸 太之助	昭和 29. 9. 13	1	沢 田 治郎右衛門	昭和 29. 9. 13
2	”	30. 9. 2	2	前 川 俣 吉	30. 9. 2
3	中 村 精	34. 4. 9	3	松 山 吉 一	34. 9. 1
4	”	34. 9. 1	4	田 中 奥兵衛	35. 9. 6
5	平 井 彦五郎	35. 9. 6	5	小 林 清 栄	38. 9. 2
6	松 井 伝兵衛	38. 9. 2	6	島 田 實	39. 12. 4
7	田 中 奥兵衛	39. 12. 4	7	梶 山 長右衛門	41. 1. 19
8	河 合 捨 治	41. 1. 19	8	四 谷 与 一	42. 3. 18
9	松 井 伝兵衛	42. 3. 18	9	島 田 慶 雄	42. 9. 4
10	四 谷 与 一	42. 9. 4	10	小 林 廣	44. 12. 15
11	石 田 巳代治	46. 9. 2	11	石 倉 清 治	46. 9. 2
12	島 田 實 也	50. 9. 4	12	今 井 三右衛門	48. 9. 29
13	今 井 三右衛門	54. 9. 7	13	西 出 巖	50. 9. 4
14	西 出 巖	58. 9. 5	14	武 内 盛 直	54. 9. 7
15	水 上 晟	60. 9. 20	15	水 上 晟	58. 9. 5
16	西 出 巖	62. 9. 10	16	横 山 定 衛	60. 9. 20
17	武 内 盛 直	平成元. 12. 19	17	畔 川 利 通	61. 12. 22
18	廣 田 与三次郎	3. 9. 4	18	川 村 音 一	62. 9. 10
			19	辻 一 敏	平成 3. 9. 4

資料：議会事務局

34. 市議会議員

議席番号	氏 名	所属常任委員会	議席番号	氏 名	所属常任委員会
1	酒 井 義 博	○総 務	12	上 山 留 治	産 業 経 済
2	松 井 拓 夫	○建 設	13	上 山 弥 栄	教 育 民 生
3	斎 藤 節 治	○教 育 民 生	14	川 村 音 一	教 育 民 生
4	藤 沢 七郎兵衛	○産 業 経 済	15	辻 一 敏	総 務
5	岩 見 寿 信	総 務	16	横 山 定 衛	産 業 経 済
6	北 山 謙 治	◎建 設	17	乾 吉 一	建 設
7	野 尻 佐 太 郎	◎教 育 民 生	18	廣 田 与三次郎	産 業 経 済
8	嶋 田 政 憲	建 設	19	斎 藤 貞 夫	建 設
9	佐々木 隆 也	◎産 業 経 済	20	水 上 晟	総 務
10	竹 内 久 三	教 育 民 生	21	武 内 盛 直	総 務
11	近 藤 栄 治	◎総 務	22	西 出 巖	教 育 民 生

(注) ◎印：委員長 ○印：副委員長

資料：議会事務局